

弓削商船高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	航海学実験 (航海)
科目基礎情報					
科目番号	5A28		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験		単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	商船学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	3	
教科書/教材	各項目についてプリント等を配布する。				
担当教員	村上 知弘				
到達目標					
各実験等を通じて、授業科目の相互関連及び理論の理解と実技の習得を身に付ける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
各実験等により航海に関する実技を習得し、それらの内容を他の授業科目において学習した理論等と結び付けて説明することができる。	各実験等において課題とされた実技が習得でき、それらの内容を他の授業科目での学習内容と関連付けて説明できる。		各実験等において課題とされた実技が習得できる。		各実験等において課題とされた実技が習得できる。
学科の到達目標項目との関係					
専門 A2 専門 E1					
教育方法等					
概要	各実験により航海に関する実技を習得し、それらの内容を他の授業科目において学習した理論等と結び付けて説明することができる。 この科目は、商船における操船・運航業務を担当していた教員が、その経験を活かし、航海学と機関学に関する技術について実験実習形式で授業を行う。				
授業の進め方・方法	航海、運用、法規に関する実験を実施し、別途配布する実施表の項目に従い、内容に応じた班編成および場所において実施する。				
注意点	実験等は実施表の項目に従い、内容に応じた班編成として効率的に行う。なお、無断欠席については単位を認めない。 養成施設引当て科目(単位): 航海コース [航海計器(0.2), 天文航海(0.7), 電波航海(0.4), 船舶の構造(0.5), 操船(0.5), 貨物の取扱(0.4), 非常措置(0.1), 衝突予防法(0.1), 船員法(0.1)]				
実務経験のある教員による授業科目					
授業計画					
	週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1週	第1期・錨把駐力実験 ・船舶機器実習1 ・弓削丸操船, 運用実習1		錨の種類による効用を理解する。基礎航海計器の取り扱いを理解する。船の運用に関する知識を得る。	
	2週	第1期・錨把駐力実験 ・船舶機器実習1 ・弓削丸操船, 運用実習1		錨の種類による効用を理解する。基礎航海計器の取り扱いを理解する。船の運用に関する知識を得る。	
	3週	第1期・錨把駐力実験 ・船舶機器実習1 ・弓削丸操船, 運用実習1		錨の種類による効用を理解する。基礎航海計器の取り扱いを理解する。船の運用に関する知識を得る。	
	4週	第1期・錨把駐力実験 ・船舶機器実習1 ・弓削丸操船, 運用実習1		錨の種類による効用を理解する。基礎航海計器の取り扱いを理解する。船の運用に関する知識を得る。	
	5週	第1期・錨把駐力実験 ・船舶機器実習1 ・弓削丸操船, 運用実習1		錨の種類による効用を理解する。基礎航海計器の取り扱いを理解する。船の運用に関する知識を得る。	
	6週	第1期・錨把駐力実験 ・船舶機器実習1 ・弓削丸操船, 運用実習1		錨の種類による効用を理解する。基礎航海計器の取り扱いを理解する。船の運用に関する知識を得る。	
	7週	第1期・錨把駐力実験 ・船舶機器実習1 ・弓削丸操船, 運用実習1		錨の種類による効用を理解する。基礎航海計器の取り扱いを理解する。船の運用に関する知識を得る。	
	8週	第1期・錨把駐力実験 ・船舶機器実習1 ・弓削丸操船, 運用実習1		錨の種類による効用を理解する。基礎航海計器の取り扱いを理解する。船の運用に関する知識を得る。	
	9週	第2期・船体構造実験1 ・船舶機器実験2		基本的な船体構造を理解する。基礎航海計器の原理を理解する。	
	10週	第2期・船体構造実験1 ・船舶機器実験2		基本的な船体構造を理解する。基礎航海計器の原理を理解する。	
	11週	第2期・船体構造実験1 ・船舶機器実験2		基本的な船体構造を理解する。基礎航海計器の原理を理解する。	
	12週	第2期・船体構造実験1 ・船舶機器実験2		基本的な船体構造を理解する。基礎航海計器の原理を理解する。	
	13週	第2期・船体構造実験1 ・船舶機器実験2		基本的な船体構造を理解する。基礎航海計器の原理を理解する。	
	14週	第3期・レーダシミュレータ ・船舶機器実験2 ・弓削丸操船, 運用実習2		レーダプロットングを理解する。基本的な船体構造を理解する。船の操船に関する知識を得る。	
	15週	第3期・レーダシミュレータ ・船舶機器実験2 ・弓削丸操船, 運用実習2		レーダプロットングを理解する。基本的な船体構造を理解する。船の操船に関する知識を得る。	
	16週				

後期	3rdQ	1週	第3期・レーダシミュレータ ・船舶機器実験2 ・弓削丸操船, 運用実習2	レーダプロットングを理解する。基本的な船体構造を理解する。船の操船に関する知識を得る。
		2週	第3期・レーダシミュレータ ・船舶機器実験2 ・弓削丸操船, 運用実習2	レーダプロットングを理解する。基本的な船体構造を理解する。船の操船に関する知識を得る。
		3週	第3期・レーダシミュレータ ・船舶機器実験2 ・弓削丸操船, 運用実習2	レーダプロットングを理解する。基本的な船体構造を理解する。船の操船に関する知識を得る。
		4週	第3期・レーダシミュレータ ・船舶機器実験2 ・弓削丸操船, 運用実習2	レーダプロットングを理解する。基本的な船体構造を理解する。船の操船に関する知識を得る。
		5週	第4期・錨泊実習 ・電子計器実習	錨泊法の行い方を理解する。電子航海機器の基本を理解する。
		6週	第4期・錨泊実習 ・電子計器実習	錨泊法の行い方を理解する。電子航海機器の基本を理解する。
		7週	第4期・錨泊実習 ・電子計器実習	錨泊法の行い方を理解する。電子航海機器の基本を理解する。
		8週	第4期・錨泊実習 ・電子計器実習	錨泊法の行い方を理解する。電子航海機器の基本を理解する。
	4thQ	9週	第5期・航海学演習1 ・荷役シミュレータ	海図の利用法を理解する。船舶荷役の方法を理解する。
		10週	第5期・航海学演習1 ・荷役シミュレータ	海図の利用法を理解する。船舶荷役の方法を理解する。
		11週	第5期・航海学演習1 ・荷役シミュレータ	海図の利用法を理解する。船舶荷役の方法を理解する。
		12週	第6期・航海学演習2 ・法規演習・船舶運用実習 ・航海学総合演習	航法計算を理解する。衝突予防法について理解する。船舶の非常措置等を理解する。天則計算等を理解する。
		13週	第6期・航海学演習2 ・法規演習・船舶運用実習 ・航海学総合演習	航法計算を理解する。衝突予防法について理解する。船舶の非常措置等を理解する。天則計算等を理解する。
		14週	第6期・航海学演習2 ・法規演習・船舶運用実習 ・航海学総合演習	航法計算を理解する。衝突予防法について理解する。船舶の非常措置等を理解する。天則計算等を理解する。
		15週	第6期・航海学演習2 ・法規演習・船舶運用実習 ・航海学総合演習	航法計算を理解する。衝突予防法について理解する。船舶の非常措置等を理解する。天則計算等を理解する。
		16週		

評価割合

	試験	口頭発表	成果物実技	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	50	50	0	0	0	100
知識の基本的な理解	0	20	20	0	0	0	40
思考・推論・創造への適応力	0	0	20	0	0	0	20
総合的な学習経験と創造力思考力	0	10	10	0	0	0	20
リーダーシップ・コミュニケーション力	0	10	0	0	0	0	10
プレゼンテーション力	0	10	0	0	0	0	10